

科目名	論理の入門	担当講師	古川元視(大学教授:教育方法・国語教育)	
開講年次	1年生前期	単位数	1単位	
授業形態	講義 演習	時間数	15時間(試験1時間含)	
学習目的	論理的思考と表現力を養い、他者の考えを理解し、自己表現力を養う。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論理的思考の必要性を理解し、論理的な表現能力を習得することができる。</li> <li>2. 論理的に読む・書く・話すことの演習を通じて論理的に考える方法を習得することができる。</li> </ol>			
授業計画	回数	担当教員	授業計画	備考(準備・予習・復習など)
	第1回	古川元視	論理的思考と論理的表現力 看護学生として論理的思考を学ぶ意義	
	第2回	古川元視	chapter1 看護学生にとって「読む」こと「書く」こととは	
	第3回	古川元視	chapter2 看護学生が「読む」ということ 1. 看護における「読む」ことの重要性 2. 文章を「読む」視点	
	第4回	古川元視	chapter2 看護学生が「読む」ということ 3. 看護学生の「読む力」を伸ばすには 4. 「読む」レッスン 5. 看護学生のためのガイドブック	
	第5回	古川元視	chapter3 看護学生が「書く」ということ 1. 看護における「書く」ことの重要性 2. 文章を「書く」視点	
	第6回	古川元視	chapter3 看護学生が「書く」ということ 3. 看護学生の「書く力」を伸ばすには 4. 「書く」レッスン	
	第7回	古川元視	chapter4 看護学生が「読んで書く」ということ 1. 「読む」と「書く」ことの循環 2. 要約について	
成績評価方法	終講試験(ペーパーテスト)を行い100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。			
教科書	日本看護協会:看護学生のための「読む力」「書く力」レッスンbook			
参考図書				
関連科目	問題解決活用法Ⅰ・Ⅱなど今後対象を理解する上での臨床推論、判断力の基礎となる。			
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	生活と物理	担当講師	梶原大吾(臨床工学技士)
開講年次	1 学年後期	単位数	1 単位
授業形態	講義	時間数	1 5 時間 (試験 1 時間含)
学習目的	人間の生活に起きている事象を科学的視点でとらえる力を養う。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常生活動作を科学的根拠に基づいて理解できる。</li> <li>2. 環境が身体に及ぼす影響を考えることができる。</li> <li>3. 自然科学を活用した医療器材の原理が理解できる。</li> </ol>		
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 重いものをもつのにどうしたらよいか</li> <li>2. 看護ボディメカニクスの物理</li> <li>3. 身近な圧力</li> <li>4. 呼吸器と吸引の物理</li> <li>5. 点滴静脈内注射の物理</li> <li>6. 循環器の物理</li> <li>7. 感覚器の物理</li> <li>8. 体温制御の物理</li> </ol>		
成績評価方法	終講試験 (ペーパーテスト) を行い100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。		
教科書	看護学生のための物理学		
参考図書			
関連科目			
備考 (学生へのメッセージ)			

科目名	情報科学	担当講師	熊智子（看護師）	
開講年次	1年生後期	単位数	1単位	
授業形態	講義	時間数	15時間（試験1時間含）	
学習目的	情報社会における看護職に必要な情報処理能力を養うとともに、文書作成、看護研究に活かす為の知識を習得する。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報科学の基本的知識やコンピュータ操作を理解し、看護に必要な情報処理について理解できる。</li> <li>2. 情報のもつ重要性を理解し、倫理的態度が理解できる。</li> <li>3. パソコンの操作ができる。</li> </ol>			
授業計画	回数	担当講師	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第1回	熊智子	コンピュータの基礎知識 I C Tと看護	別途資料を準備します。
	第2回	熊智子	情報とセキュリティ 情報リテラシー	別途資料を準備します。
	第3回	熊智子	コンピュータの使い方 W o r d 2019	テキスト 3章
	第4回	熊智子	E x c e l 2019	テキスト 4章
	第5回	熊智子	パワーポイント2019	テキスト 5章
	第6回	熊智子	プレゼンテーションの実際	
	第7回	熊智子	発表	
成績評価方法	プレゼンテーションの実際としての演習課題として50点、終講試験（ペーパーテスト）にて50点の合計100点とし総合的に評価する。総合的に評価を行ない100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。			
教科書	30時間でマスター Office2019（実教出版） 医学書院 看護情報学			
参考図書	佐瀬雄二：看護のための情報リテラシー			
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)	演習にしっかり取り組み、Officeで困ることのないようにしてください。 また、適宜、教科書にない内容の講義をすることがあります。 既に理解している内容もあるかも知れませんが、しっかり取り組んでください。			

科目名	医学英語	担当講師	デズレイ（英会話スクール講師）
開講年次	1年生前期	単位数	1単位
授業形態	講義	時間数	20時間＋試験1時間
学習目的	国際化社会に対応しうる能力を養うと共に、看護に必要な読解力や表現力、語学力を養う。		
学習目標	1. 基礎英語について理解し、学びを深めることができる。 2. 医療、看護に関する専門用語が理解できる。 3. 医療現場で活用できる英会話が理解できる。		
授業計画	回数	項目	内容
	第1回	Unit 1	
	第2回	Unit 2	
	第3回	Unit 3	
	第4回	Unit 4・5	
	第5回	Unit 6・7	
	第6回	Unit 8	
	第7回	Unit 9	
	第8回	Unit 10・11	
	第9回	Unit 12・13	
	第10回	Unit 14・15	
成績評価方法	終講試験（ペーパーテスト）を行い100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。		
教科書	ENGLISH FIRST		
参考図書			
関連科目			
備考 (学生へのメッセージ)	看護も対象も多様化・国際化しています。医療現場で活用できる基礎的な英語の知識と英会話が出来るようにと楽しく学びましょう。		

科目名	心理と行動	担当講師	西村 薫（大学教授：臨床心理師・公認心理師）
開講年次	1年生前期	単位数	1単位
授業形態	講義	時間数	30時間＋試験1時間
学習目的	看護の対象である人間をよりよく理解するために、人間の心と行動を科学的、分析的に捉える力を養う。また、人間の相互関係の実際を通してコミュニケーション能力を高め、人間形成に活かす。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>個人と集団の心理を理解するための基礎的知識を理解する。</li> <li>看護現場で実践的に活用できる心理学や考え方を理解できる。</li> </ol>		
授業計画	回数	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第1回	オリエンテーション	
	第2回	感覚の心理	教科書p4～p7までを事前に読んでおくこと。
	第3回	知覚の心理	教科書p8～p11までを事前に読んでおくこと。
	第4回	学習の心理	教科書p14～p16までを事前に読んでおくこと。
	第5回	記憶の心理	教科書p17～p26までを事前に読んでおくこと。
	第6回	感情の心理	教科書p30～p38までを事前に読んでおくこと。
	第7回	動機の心理	教科書p39～p44までを事前に読んでおくこと。
	第8回	性格の心理	教科書p48～p59までを事前に読んでおくこと。
	第9回	知能の心理	教科書p60～p62までを事前に読んでおくこと。
	第10回	発達の心理	事前に配布される資料を熟読しておくこと。
	第11回	発達の心理	事前に配布される資料を熟読しておくこと。
	第12回	発達の心理	事前に配布される資料を熟読しておくこと。
	第13回	発達の心理	事前に配布される資料を熟読しておくこと。
	第14回	社会の心理	事前に配布される資料を熟読しておくこと。
第15回	集団の心理	事前に配布される資料を熟読しておくこと。	
成績評価方法	終講試験（ペーパーテスト）を行い100点を満点とし、試験（80％）授業内に課される課題（20％）とし、60点以上を合格とし評価します。		
教科書	長田久雄（編） 看護学生のための心理学 医学書院		
参考図書	授業内に随時紹介する		
関連科目			
備考 (学生へのメッセージ)	授業をただ聞くだけでなく、自分のこととして考える姿勢や、看護師の立場や患者さんの立場で授業内容をとらえ、実際どのように行動すべきかを考えることを求めます。		

科目名	人間関係論	担当講師	成吉章江（看護師）
開講年次	1年次前期	単位数	1単位
授業形態	講義	時間数	20時間 + 試験1時間
学習目的	人間関係を形成するためには、自己を理解し、他者を理解する必要がある。人間関係の側面から、人の発達と成長の基本的理論を学び、コミュニケーションの基礎と方法について学習する		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間発達、コミュニケーション、家族、集団・社会心理に関する理論が理解できる</li> <li>2. 社会的相互作用において理論を踏まえて人間発達と人間関係を捉えることができる</li> <li>3. 治療的な患者－看護師関係とそれを支える治療的コミュニケーション技術について説明できる</li> <li>4. 保健医療で関わる人々との人間関係の在り方について理解できる</li> </ol>		
授業計画・内容	回数	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第1回	コミュニケーションの基礎	
	第2回	言語的コミュニケーション	
	第3回	非言語的コミュニケーション	
	第4回	傾聴技法	
	第5回	コーチングによる自己決定の支援	
	第6回	コーチングによる自己決定の支援	
	第7回	患者理解と言葉かけ	
	第8回	患者理解と言葉かけ	
	第9回	患者やスタッフとの人間関係	
	第10回	チームワークと多職種連携	
成績評価方法	終講試験（ペーパーテスト）を行い100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。		
教科書	看護のためのコミュニケーションと人間関係		
参考図書			
関連科目			
備考 (学生へのメッセージ)			

科目名	人間と教育	担当講師	藤村 晃成 (大学准教授)
開講年次	1 年生前期	単位数	1 単位
授業形態	講義	時間数	20 時間 + 試験 1 時間
学習目的	教育の本質・目的など基本概念を知り、教育方法・教育心理・教育評価を学ぶ。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育の基本概念が理解できる。</li> <li>2. 教育の基本的本質、教育方法、技術が理解できる。</li> <li>3. 集団指導のあり方を学び、グループダイナミクスを高めることができる。</li> </ol>		
授業計画	回数	授業計画	備考 (準備・予習・復習など)
	第 1 回	オリエンテーション：思い出の授業	
	第 2 回	「学び」について考える：動物の子育てから	
	第 3 回	「学校の変化」について考える：3 年 B 組金八先生から	
	第 4 回	「学校の問題」について考える：「体罰」の問題から	
	第 5 回	「学力」について考える：学力とリテラシー	
	第 6 回	授業を作る：授業づくり体験	
	第 7 回	授業をする：命の授業を題材として	
	第 8 回	授業を振り返る：授業記録の検討 (GW)	
	第 9 回	「子ども」について考える (1)：現代の子どもの人間関係	
	第 10 回	「子ども」について考える (2)：現代の子どもの人間関係	
成績評価方法	終講試験 (ペーパーテスト) を行い100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。		
教科書	指定しない		
参考図書	授業中に適宜紹介する		
関連科目			
備考 (学生へのメッセージ)	第 1 回～第15回 「教育とは何か」について考察を深めることを通して、看護に应用できる指導・教育の基礎を学びます。これまでの学校生活の経験・思い出を振り返っておいてください。		

科目名	健康支援論	担当講師	植田聡子（看護師） 海藤望（看護師）	
開講年次	1年生前期	単位数	1単位	
授業形態	講義・演習	時間数	30時間＋試験1時間	
学習目的	健康の保持増進の為に必要な理論について理解し、健康教育・実施ができる。			
学習目標	1. 健康の保持増進に必要な理論を理解できる。 2. 運動やレクリエーションと身体の各生理機能との関係及び効果について理解できる。 3. 運動の身体的・精神的・社会的健康への効果が理解できる。 4. 健康づくりのための方法を学び、安全に実施することができる。 5. 日常生活に取り入れられる健康教育について知ることができる。			
授業計画・内容	回数	担当講師	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第1回	海藤望	・講義ガイダンス	
	第2回	海藤望	・地域における健康支援のための看護介入	看護学概論 第6章
	第3回	海藤望	・職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護	成人看護学概論 第4章
	第4回	海藤望	・災害復興期における被災住民の生活と看護師の役割	災害看護学・国際看護学 第2章
	第5回	海藤望	・母子保健と学校保健（分野別保健法令）	看護関係法令 2025版 第1章
	第6回	海藤望	・健康の維持増進、疾病予防のための健康教育・支援方法の指導案作成	
	第7回	海藤望	・健康の維持増進、疾病予防のための健康教育・支援方法の指導案作成	
	第8回	海藤望	・健康教育・支援の指導案を基に発表・評価	
	第9回	海藤望	・健康教育・支援の指導案を基に発表・評価	
	第10回	海藤望	・まとめ・終講試験対策	
	第11回	植田聡子	・地域における健康支援のためのアセスメント	看護学概論、老年看護学 地域リハビリテーション
	第12回	植田聡子	・地域における健康支援の準備	看護学概論、老年看護学 地域リハビリテーション
	第13回	植田聡子	・地域における健康支援の準備	看護学概論、老年看護学 地域リハビリテーション
	第14回	植田聡子	・演習	
第15回	植田聡子	まとめ		
成績評価方法	終講試験（ペーパーテスト）を行い100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。 ※内訳は海藤教員60点、植田教員40点、課題参加姿勢・課題提出状況も評価に含めます。			
教科書	看護学概論・成人看護学概論・災害看護学・看護関係法令・小児看護学概論・老年看護学概論 母性看護学概論			
参考図書				
関連科目	解剖生理学、臨床治療論Ⅰ（栄養）学、基礎看護技術（指導技術）			
備考 （学生へのメッセージ）				

科目名	人間と倫理 I	担当講師	熊 智子 (看護師)	
開講年次	1 年生前期	単位数	1 単位	
授業形態	講義	時間数	1 5 時間 (試験 1 時間含む)	
学習目的	看護の対象である人間を幅広くとらえると同時に生きることの意義とは何か、自己の存在を通して見つめるとともに、人間理解と人間存在の意味を考えることができる。			
学習目標	1. 人間の生きる意味・人間存在の意味について考察する。 2. 生命倫理・人間の尊厳について理解できる。			
授業計画	回数	担当教員	授業計画	備考 (準備・予習・復習など)
	第 1 回		1. 倫理学の基本的な考え方	身の回りの日々の出来事、ニュースすべてが倫理を考える材料です。よく見て、よく聴いて、よく考え、判断して行動し、間違えたら修正して向上しましょう！ グループワークを通し他者の意見を聴きながら、多くの考え方について触れてみましょう。
	第 2 回		2. 生命倫理とは	
	第 3 回		3. 性と生殖の生命倫理 (1)	
	第 4 回		4. 同 (2)	
	第 5 回		5. 死の生命倫理 (1)	
	第 6 回		6. 同 (2)	
	第 7 回		7. 先端医療と制度をめぐる生命倫理	
成績評価方法	終講試験 (ペーパーテスト) を行い100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。受講態度、ワークシート記入状況等は参考とします。			
教科書	系統看護学講座 別巻 看護倫理 第2版 (医学書院)			
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)	自分以外の学生の意見をしっかり聞きグループワークに参加してください。			

科目名	解剖生理学 I	担当講師	杉原茂孝 (医師)
開講年次	1 年生前期	単位数	1 単位
授業形態	講義	時間数	30 時間 + 試験 1 時間
学習目的	人体を構成している骨や筋、臓器等の位置、名称、構造を理解する。		
学習目標	1. 解剖を系統的に学習し、看護する上に必要な人体の構造が理解できる。		
授業計画・内容	1. 人体の構成 2. 骨格系・筋系・循環器系・呼吸器系 3. 消化器系・泌尿器・生殖器系 4. 人体の発生・内分泌系・神経系 5. 皮膚および感覚器		
成績評価方法	終講試験（ペーパーテスト）を行い100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。		
教科書	人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 第11版		
参考図書			
関連科目	今後学ぶ疾患・看護につながる。また、看護に必要な臨床判断力の基礎的知識となる。		
備考 (学生へのメッセージ)			